

# 知って備える防災メモ

第26回



**そのとき、身を守るために—緊急地震速報について知ろう—**

いつ、どこで起こるか分からない地震の発生をできるだけ早く伝え、身を守る行動がとれるよう、気象庁では、最大震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対して『緊急地震速報』を発表します。

発表を受けて、テレビやラジオ、携帯電話の『緊急速報メール』などで、皆さんに『緊急地震速報』が伝えられます。

※携帯電話で

『緊急地震速報』を受信するには、受信対応機種であることや受信設定が必要な場合がありますので、契約している携帯電話会社に確認しましょう。

緊急地震速報発表の流れ



**緊急地震速報を聞いたときには**

緊急地震速報が発表されてから地震の強い揺れが来るまでは、長くても数十秒ほどもです。周囲の状況に応じて、慌てず速やかに行動し、身の安全を確保することが大切です。

いろいろな場所で地震が発生したときのことを想定し、緊急地震速報を聞いたらどう行動すべきかを状況に応じて考えましょう。

●屋内にいるとき

- ・頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる
- ・扉を開けて避難路を確保する

- ・慌てて外に飛び出さないなど

●屋外にいるとき

- ・看板や窓ガラスの落下に注意し、建物から離れる
- ・落石や崖崩れに注意し、その場から離れるなど

問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎) 4249

人が輝き まちがときめく

## 仲間たち

Group

### 美園空手クラブ



**自分に足りないものを見つけ、仲間と共に切磋琢磨する**

『美園空手クラブ』は、空手の普及を目的に、昭和50年に発足しました。現在、在籍しているのは5歳から66歳までのメンバー28人。週に4回、18時30分から、美園児童センターと労働福祉センターで活動しています。体力づくりや型をはじめ、基本を大切にした無理のない稽古をしているという同クラブ。指導者の成田元さんは、「できる範囲で自分に合った稽古をすれば長く続けることができ、おのずと結果もついてきます。ただし、勝つことばかりを考えるのではなく、試合で負けるのも良いことです。大切なのは自分に足りないものを見つけ、仲間と共に切磋琢磨することです。それを実践しているクラブの子どもたち



▲基本となる型の練習

ちは、みんな目が輝いています」と話します。

体が弱かった小学2年生のときに両親のすすめで同クラブへ参加し、10年にわたり活動を続けている福留大將さんは、「仲間と互いに高め合うことが楽しく、つらい時期も互いに励まし合って乗り越えてきました。もうすぐ社会人になりますが、空手で培った自信と忍耐力、努力した分の結果は必ずついてくるという信念で、頑張りたいです。いつの日か、今まで教えてもらった『心を鍛える空手』を次の世代にも伝えていきたいです」と、今後の目標を話してくれました。

見学を希望する方は成田さん(☎) 8471)まで。

## おもてなしの気持ちで 明るくお出迎え

「観光客の皆さんをご案内するときは、楽しく場を盛り上げながら会話することを心掛けています。旅先での地元の人との楽しい会話は、きっと皆さんの心に残るはず。おもてなしの気持ちで、明るく皆さんをお出迎えしています」と笑顔で話す大平定子さん。

平成2年に発足した『登別市観光ボランティアガイド会』は、40歳代から80歳代までの会員37人が交代しながら、一日当たり3人または4人で地獄谷展望台に立ち、観光案内を行っています。

「観光客の皆さんには、私たちが積極的に声を掛けるようにしています。私は平成8年からガイド会に加わりましたが、当時と比べると、現在は海外からの観光客が増え、国内からの観光客は団体に旅行に替わり個人旅行が中心になるなど、変化を感じますね。さまざまな国の方がいらっしゃいますが、英語を単語でゆつくりと話すと理解してくれることが多く、海外の方とコミュニケーションを取れたときの喜びも活動の楽しみの一つです」と、大平さんは活動の様子を話します。



▲研修会で市職員の講話を聴く会員

## 観光客の皆さんに 旅の良い思い出を

ガイド会では、観光案内の活動がない11月から4月にかけて、会員が観光について自ら学ぶ期間としています。

「観光案内をする上で、自分が苦手としている分野や知らないことを重点的に学んでいます。また、毎年2月には研修会を開き、ことは観光担当の市職員から、登別市の観光の現状や今後についての講話を聴くなどして、理解を深めています。ことしも、観光客の皆さんと一緒に楽しく歩き、旅の良い思い出づくりにつながるよう、会員それぞれで研さんに励みます」と、活動の抱負を話す大平さん。

「会員おそろいの法被を身にまとい、観光客との出会いを心待ちにしています。」



KIRARI

おお ひら さだ こ  
**大平定子**さん(片倉町)

毎年5月から10月までの毎日、地獄谷展望台を拠点に、心のコもったおもてなしで、国内外から訪れる観光客をお出迎えしている『登別市観光ボランティアガイド会』。

観光客に温泉だけではないまちの魅力を知ってもらい、登別市に来てよかったと思ってもらえるよう、緑豊かな地獄谷周辺や大湯沼、天然足湯などの観光案内を無料で行っています。

会長の大平定子さんに、観光客との触れ合いやこれからの活動に向けた抱負などを聞きました。

## 旅先での楽しい会話は きっと皆さんの心 に残るはず



昭和20年、夕張郡由仁町生まれ。69歳。  
北海道由仁高等学校を卒業後、バスガイドとして就職するため、登別市に転入。町内会の役員も務めるなど、地域の活動にも積極的に参加している。